



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 藤倉化成株式会社
 コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 大輔
 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	47,861	△15.7	2,467	4.9	2,681	15.5	1,739	39.7
28年3月期第3四半期	56,751	9.0	2,351	25.2	2,320	10.4	1,245	20.0

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 98百万円 (△89.9%) 28年3月期第3四半期 970百万円 (△47.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	54.21	—
28年3月期第3四半期	38.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	48,515	31,651	59.6
28年3月期	51,194	32,551	57.8

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 28,925百万円 28年3月期 29,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	65,000	△11.9	3,000	△0.4	3,000	0.8	1,800	56.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	32,716,878 株	28年3月期	32,716,878 株
29年3月期3Q	887,711 株	28年3月期	38,211 株
29年3月期3Q	32,074,137 株	28年3月期3Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、所得環境や雇用情勢に改善が見られ、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、英国のEU離脱問題に伴う欧州情勢への不安に加え、米国新政権による政策への不安懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は478億61百万円（前年同期比15.7%減）となり、営業利益は24億67百万円（同4.9%増）、経常利益は26億81百万円（同15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億39百万円（同39.7%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分等を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け市場においては、国内市場における需要は、前年同期と比べ横這いで推移いたしました。が、海外市場においては、米国の連結子会社であるレッドスポット社における業績が、為替相場の影響を受けるなど減収となりました。

この結果、売上高は175億71百万円（同9.2%減）となり、営業利益は15億24百万円（同4.3%増）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、リフォーム向け市場の需要が堅調であったものの、新築向け市場における施工棟数の伸び悩みなどにより、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は97億10百万円（同4.1%減）となり、営業利益は5億67百万円（同9.2%減）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、海外向け市場において、アジアを中心とする現地メーカーとの価格競争の激化などにより苦戦が続いており、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は23億1百万円（同12.4%減）となり、営業利益は84百万円（同20.3%増）となりました。

④ 化成品

トナー用レジンや樹脂ベース（『アクリベース』）などを取扱う化成品部門におきましては、粘着剤分野における需要が堅調であったものの、トナー用レジンの需要の減少などがあり、売上高は前年同期と比べ、横這いで推移いたしました。

この結果、売上高は27億35百万円（同0.0%減）となり、営業利益は1億85百万円（同74.2%増）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、海外市場における液晶テレビ用途の関連製品が技術革新などに伴って、需要が大幅に減少したことなどから、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、売上高は156億8百万円（同29.0%減）となり、営業利益は1億6百万円（同18.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ26億79百万円（前連結会計年度末比5.2%）減少し、485億15百万円となりました。

① 流動資産

社債の償還、短期借入金の返済及び配当金の支払いによる現金及び預金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ22億30百万円（同7.1%）減少し、291億39百万円となりました。

② 固定資産

減価償却などによる有形固定資産及びソフトウェアの残存簿価の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ4億49百万円（同2.3%）減少し、193億76百万円となりました。

③ 流動負債

債務決済による支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ7億84百万円（同5.7%）減少し、129億91百万円となりました。

④ 固定負債

社債の償還などの結果、前連結会計年度末と比べ9億95百万円（同20.4%）減少し、38億73百万円となりました。

⑤ 純資産

自己株式の取得及び為替換算調整勘定が減少したことにより、前連結会計年度末と比べ9億円（同2.8%）減少し、316億51百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.8%から59.6%へと1.8ポイント増加となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より3円34銭増加し、908円76銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想は、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間より、重要性が増加したため、FUJIKURA KASEI MALAYSIA SDN. BHD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,636,355	9,596,127
受取手形及び売掛金	12,287,101	12,814,975
商品及び製品	3,653,150	3,268,825
仕掛品	80,302	75,924
原材料及び貯蔵品	2,018,209	1,978,561
繰延税金資産	555,851	443,360
その他	1,271,111	1,087,227
貸倒引当金	△132,703	△125,642
流動資産合計	31,369,376	29,139,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,305,430	10,210,124
減価償却累計額	△5,444,963	△5,577,775
建物及び構築物 (純額)	4,860,467	4,632,349
機械装置及び運搬具	12,736,988	12,285,419
減価償却累計額	△10,098,712	△10,092,313
機械装置及び運搬具 (純額)	2,638,276	2,193,106
工具、器具及び備品	4,090,872	4,070,156
減価償却累計額	△3,423,566	△3,480,039
工具、器具及び備品 (純額)	667,306	590,117
土地	4,449,651	4,290,128
リース資産	322,056	296,476
減価償却累計額	△165,269	△154,616
リース資産 (純額)	156,787	141,860
建設仮勘定	395,681	580,366
有形固定資産合計	13,168,168	12,427,926
無形固定資産		
ソフトウェア	631,431	477,431
のれん	45,190	18,399
その他	1,262,380	1,093,515
無形固定資産合計	1,939,001	1,589,345
投資その他の資産		
投資有価証券	2,098,382	2,910,637
長期貸付金	37,402	30,474
繰延税金資産	326,033	195,504
その他	2,272,283	2,231,705
貸倒引当金	△16,224	△9,779
投資その他の資産合計	4,717,876	5,358,541
固定資産合計	19,825,045	19,375,812
資産合計	51,194,421	48,515,169

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,116,647	6,673,374
短期借入金	3,367,062	3,084,355
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	324,590	191,261
未払費用	911,049	958,128
賞与引当金	653,118	379,741
リース債務	59,665	58,957
その他	843,196	1,145,252
流動負債合計	13,775,327	12,991,068
固定負債		
社債	1,000,000	500,000
繰延税金負債	190,411	163,929
退職給付に係る負債	2,598,119	2,538,485
長期未払金	279,613	282,855
リース債務	135,515	111,658
その他	664,369	275,707
固定負債合計	4,868,027	3,872,634
負債合計	18,643,354	16,863,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	17,501,194	18,853,214
自己株式	△24,992	△524,974
株主資本合計	27,868,522	28,720,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340,386	715,084
為替換算調整勘定	2,083,279	8,692
退職給付に係る調整累計額	△704,165	△519,261
その他の包括利益累計額合計	1,719,500	204,515
非支配株主持分	2,963,045	2,726,392
純資産合計	32,551,067	31,651,467
負債純資産合計	51,194,421	48,515,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	56,751,397	47,861,367
売上原価	43,404,051	35,254,523
売上総利益	13,347,346	12,606,844
販売費及び一般管理費	10,996,040	10,140,079
営業利益	2,351,306	2,466,765
営業外収益		
受取利息	29,895	17,452
受取配当金	61,852	58,826
固定資産賃貸料	41,560	30,978
償却債権取立益	-	127,187
持分法による投資利益	63,711	32,331
その他	123,521	98,901
営業外収益合計	320,539	365,675
営業外費用		
支払利息	46,350	34,888
為替差損	226,320	77,413
その他	79,293	39,594
営業外費用合計	351,963	151,895
経常利益	2,319,882	2,680,545
税金等調整前四半期純利益	2,319,882	2,680,545
法人税、住民税及び事業税	759,135	734,885
法人税等調整額	150,566	52,657
法人税等合計	909,701	787,542
四半期純利益	1,410,181	1,893,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	165,593	154,305
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,244,588	1,738,698

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,410,181	1,893,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,098	378,410
為替換算調整勘定	△480,688	△2,384,639
退職給付に係る調整額	63,713	184,904
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,278	25,953
その他の包括利益合計	△440,155	△1,795,372
四半期包括利益	970,026	97,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867,070	240,642
非支配株主に係る四半期包括利益	102,956	△143,011

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式849,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が499,982千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が524,974千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	19,361,580	10,121,185	2,619,093	2,736,026	21,913,513	56,751,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	7,769	359	60,588	68,716
計	19,361,580	10,121,185	2,626,862	2,736,385	21,974,101	56,820,113
セグメント利益	1,460,876	624,795	70,068	105,968	89,679	2,351,386

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,351,386
セグメント間取引消去	△80
四半期連結損益計算書の営業利益	2,351,306

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	17,571,014	9,710,051	2,289,229	2,734,938	15,556,135	47,861,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	11,714	142	52,067	63,923
計	17,571,014	9,710,051	2,300,943	2,735,080	15,608,202	47,925,290
セグメント利益	1,524,151	567,172	84,295	184,617	106,437	2,466,672

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,466,672
セグメント間取引消去	93
四半期連結損益計算書の営業利益	2,466,765

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

① セグメント区分等の変更

平成29年3月期を初年度とする3カ年経営計画を「第9次中期経営計画」として作成したことに伴い、事業セグメント区分を見直し、「化成品事業」と「機能材料事業」を統合し、「化成品事業」といたしました。これにより、従来の「コーティング事業」「塗料事業」「電子材料事業」「機能材料事業」「化成品事業」「合成樹脂事業」の6区分から、「コーティング事業」「塗料事業」「電子材料事業」「化成品事業」「合成樹脂事業」の5区分へ変更し、併せて本社費用等の配分方法についても見直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法等により作成したものを記載しております。

② 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。